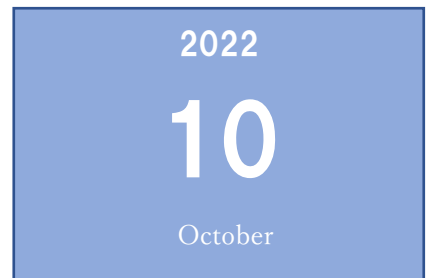




# ほっと多摩

- 入院決定～入院までのはなし
- 泌尿器科のはなし
- 乳がん検診のはなし【乳腺科】
- アンギオ室のはなし【放射線室】
- 医事課の独り言



日本医科大学 多摩永山病院  
NIPPON MEDICAL SCHOOL TAMANAGAYAMA HOSPITAL

## 入院のはなし

## 入院決定～入院までのスケジュール

こんにちは、看護部です。今回、入院が決まった患者さんのスケジュールと看護師がおこなっていることをご紹介します。誰も出来る事なら入院はしたくないものです。そのような入院生活における不安を少しでも軽減できるように、看護師は入院する前からの関わりを大切に考えています。

## 入院前検査：患者さんの都合や主治医の指示で日程が決定します

- 入院治療に必要なCTやレントゲン撮影等の検査を行います。
- PCR検査を原則、入院日及び検査日の前日から4日以内に採取しています。但し、入院及び検査の予定が10:30以前にある場合には2日前までに実施しています。



## 入院説明：入院前日までに患者支援センターでおこないます

- 入院に必要な情報をお聞きます●

患者さんが安心して入院治療を受けることができるように、入院時に準備していただく物品やお部屋の希望の確認など、入院までの流れをご説明します。また、入院中の診療や退院に向けた支援がより充実し、円滑に進められるようにお話を伺います。内容はアレルギーの有無や患者さん自身の病気の理解度、日常生活動作の自立度、ご家庭の状況などです。これらの情報を整理し、調整が必要な場合は入院病棟の看護師、専門の看護師、医師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどと情報共有を行います。医療スタッフ全員で患者さんを支援できるように看護師が調整します。ご不明な点は、遠慮なく看護師にお尋ねください。



Q:なぜ、入院前から退院に向けた支援を考えるの？

A:高齢の患者さんにとって、長引く入院は次のような問題を生ずることがあります。例えば、病気はよくなったのに筋力が弱って歩けなくなったり、認知症のような症状が出たり…。この状態を「入院関連機能障害」と言います。もとの生活に戻るためにも、早く退院をする事はとても重要なことです。

## 入院までの過ごし方

- 適度な運動をして体力をつけておきましょう  
退院後に体力不足を感じられる方は大勢いらっしゃいます。活動が制限される入院生活では運動不足になりやすいからです。
- 歯医者さんで歯周病や虫歯の治療をしておきましょう  
入院するということは何かしらの病気を持っており、普段より免疫力が衰えている状態になります。免疫力が下がっている状態で、お口が汚れていたり虫歯や歯周病があったりすると、肺炎や心内膜炎などを引き起こす可能性があります。入院前はまずお口の中の病気を治し、歯石などの汚れも落としてから入院していただくことをお勧め致します。



## 入院オリエンテーション：入院日に入院病棟でおこないます

入院生活に対して、不安や戸惑いを感じる方は少なくありません。看護師はそのような患者さんの気持ちに寄り添い、安心して入院生活を送っていただくために、患者さんの疑問点が解消し不安が軽減できるよう対応します。分からないことがあれば24時間看護師が対応しますのでご安心ください。また、毎日の洗濯や日常消耗品を持って、病院と自宅の往復をされるご家族は大変だと感じます。ご家族の負担を減らすため、入院中は寝衣、オムツのレンタル、お泊りセットを是非ご利用ください。

病棟にご案内後、以下のような内容を説明します。

- 1日のスケジュール
- 病棟の構造
- 週間スケジュール
- 病棟の規則
- 貴重品の管理方法 等



## 入院関連機能障害について

### Hospitalization-Associated Disability: HAD

#### ◆入院関連機能障害とは◆

入院により病気が良くなっても、体力や機能が低下することです。入院中の安静臥床が誘因となるもので、70歳以上の高齢者の30-40%に発症されると海外で報告されています。健常な高齢者の多くは退院してすぐに回復し、入院前の生活に戻ることができます。しかし、虚弱高齢者は安静臥床による筋力や機能の低下が著しく、さらに回復も乏しいため入院前の生活に戻れなくなります。特に要介護状態の方や、虚弱高齢者はハイリスクと言われており、こうした状態から、短期間のうちに再入院が必要になるケースも少なくありません。

#### ◆入院関連機能障害を予防するには？◆

最近では、入院時に筋力を低下させないように、早期のリハビリテーションを実施しています。しかし、それだけでは十分でなく、リハビリは入院前の普段の生活から始まっていると言っても過言ではありません。普段の生活で体力を落とさないように運動をし、栄養状態を落とさないようバランスのよい食事をしましょう。入院時には、ご家族等から「もともと足が弱い」「食が細い」「認知症症状がある」など、機能低下のリスクを医師や看護師に伝えることも大切です。

高齢者の病気は「入院すれば安心」と思われがちですが、入院には、その後の生活を脅かす大きなリスクがあることも理解し、日頃から健康状態の向上を目指しましょう

## 安心して退院を迎えるために

治療も終盤になると、いよいよ退院が近づきホッとする反面、自宅療養における心配や不安の種が尽きないといった方も多いと思います。当院では、患者さんご家族が安心して自宅療養に移行できるよう、病棟の看護師等がご自宅を訪問して退院後に備えるサービスを受けることができます。このサービスは「退院前訪問指導」「退院後訪問指導」と呼ばれる公的医療保険制度です。

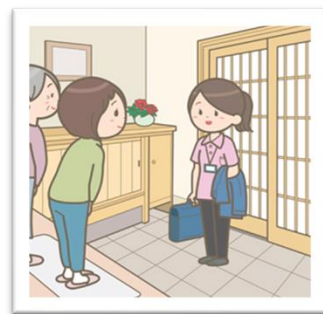
サービスを利用できるのは、以下の条件に該当する方とご家族です

### 【退院前訪問】

- ・入院期間が1ヶ月を超えそうな患者さんで、自宅退院を目標にしている方

### 【退院後訪問】

- ・悪性腫瘍(がん)と診断され、在宅療養に対する不安が強い方
- ・深い床ずれ(真皮を超える褥瘡)のある方
- ・気管切開をして気管カニューレを使用している方、留置カテーテルを使用している方
- ・疼痛管理をされている方、および肺高血圧症のある方
- ・人工肛門または人工膀胱のケアをされている方
- ・在宅で訪問点滴注射を受けている方
- ・在宅での透析療法・酸素療法・中心静脈栄養法・経管栄養・自己導尿・人工呼吸器持続陽圧呼吸療法



## 訪問スタッフ

訪問スタッフは一般的に病棟の看護師や退院支援を担当する看護師、または認定・専門看護師です。患者さんの病状や退院後に必要な医療処置やケア内容によっては、訪問看護師と一緒に同行することがあります。

## 退院前・退院後訪問で受けられる支援

- 1 退院前に患者様の生活環境などを知ること、自宅療養(処置やケア)を継続しながら患者さんらしい生活ができるように環境調整やサービス内容を検討・提案をしていきます。
- 2 看護師が訪問し、退院後の生活を見据えた指導をすることで患者さんご家族の自宅療養に対する不安の軽減を図ります。
- 3 適切な退院の時期に円滑に自宅退院できるよう調整していきます。
- 4 退院後は、入院中から継続している医療処置やケアが在宅でも問題なく実施されているかどうか確認します。必要に応じてアドバイスやケア指導を行います。

※自宅の中すべてを確認するわけではありません。患者さんが主に過ごす場所の確認をさせていただきます。

## 退院前・退院後訪問にかかる費用

訪問に際しましての費用は、医療保険からの請求となりますが、交通費だけは自費で頂くこととなりますのでご了承ください。

ご近所であれば、自転車でも伺います!



日本医科大学多摩永山病院 看護部

Instagramページ こちらから



## 診療科のはなし

## 泌尿器科のはなし

日本医科大学多摩永山病院 泌尿器科 井熊 俊介

日本医科大学多摩永山病院 泌尿器科のご紹介になります。泌尿器科は佐藤部長、尾形医局長、松岡医員、井熊医員、宮内医員の5名で外来・病棟・手術・夜間対応を行っています。対象疾患は泌尿器疾患全般で、泌尿器悪性腫瘍・男性排尿障害・尿路結石を得意分野として診察をしています。泌尿器科では腎細胞癌・尿管癌・膀胱癌・前立腺癌・精巣癌などの悪性腫瘍を扱います。腎細胞癌は免疫療法薬でノーベル賞で話題となったオプジーボをはじめとして種々の新規薬剤を積極的に取り入れ治療プロトコルを作成しております。尿管癌・膀胱癌は無症候性肉眼的血尿で来院された患者さんに即日膀胱鏡検査を実施、初診日に診断し手術日を決めております。また前立腺癌は日本人男性の罹患率が胃癌を抜き1位となり多くの患者さんが紹介受診されエビデンスに基づく治療を受けております。すべての泌尿器腫瘍に対してがん看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師などのコメディカルと連携を取り患者さんへ包括的なアプローチを行っています。腰背部痛や側腹部痛で尿路結石を疑われた紹介患者さんは疼痛が強く早急な治療が必要とされます。発作早期の体外衝撃波結石破碎術(ESWL)で結石の排石率が上がるとのエビデンスに基づき当科ではできる限り当日のESWLの実施をめざしております。

当科では今後も地域の医療機関の先生方との連携を重視し、患者さんとともにご満足いただける医療を提供したいと思っております。お困りの症例や時間外での診察も柔軟に対応いたしますのでぜひお気軽に泌尿器科外来へお電話ください。



## 検診のはなし

### <乳がん検診を受けましょう>

#### 当院で多摩市乳がん検診が受けられます

乳がんは女性で最も多いがんで、国内で年間9万人が乳がんと診断されています。

女性のおよそ9人に1人が乳がんを経験します。家族に乳がんの方がいなくても、安心はできません。

乳がんは、早期に治療することで多くの方が治るがんとしても知られています。

おいくつになっても乳がんになる可能性があります。特に、閉経後の方の「しこり」の場合、乳がんの可能性が高くなります。

ご自身でしこりを見つけることもありますが、定期的な乳がん検診を受けることで、より早期で乳がんが見つかりやすくなることが報告されています。早期発見のために、2年に1度は乳がん検診を受けましょう。

#### 「ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活習慣)」とは?

- ・ご自身の乳房の状態を知る
- ・乳房の変化に気をつける
- ・変化に気づいたら、すぐに医師に相談する
- ・40歳になったら、2年に1回乳がん検診を受ける

マンモグラフィ検診は「乳がんの死亡率を減少させることが科学的に証明された」検診です。定期的に受診することで、以前の画像と比較して(比較読影といいます)、変化の有無を確認することができます。

・QRコードを読み取ることで、2つの内容の詳細を見ることができます。

「乳がん検診は必要?」



「乳がんは遺伝が原因?」



#### 10月はピンクリボン月間です



ピンクリボン乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の重要性を伝えるシンボルマークです。

1980年代、乳がんで亡くなられたアメリカの患者さんの家族が、「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作ったピンクのリボンからスタートしました。

#### QRコードの読み取り方

- ・iPhone (リンゴのマーク)の方⇒カメラでQRコードを読み取り、画面上部に出てくる半透明のメッセージをタッチします。
- ・Android (らくらくスマートフォンなど)の方 ⇒ QRコード読み取りアプリをダウンロード、もしくは、カメラを起動し「モード」もしくは「その他」を選択。次に「レンズ」または「Google Lens」を選択。カメラでQRコードを映し、少し待つと出てくる文字をタッチします。

## 放射線のはなし

## 血管内治療 (IVR) について

放射線科のアンギオ室で行っている血管内治療 (IVR) についてご説明させていただきます。

## IVRとは？

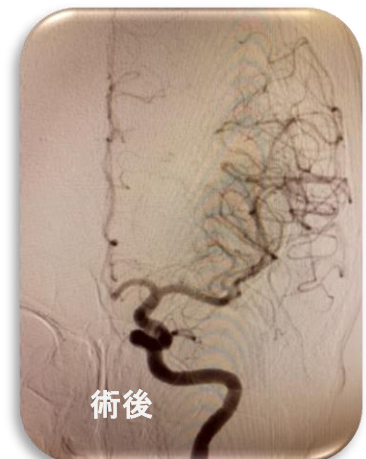
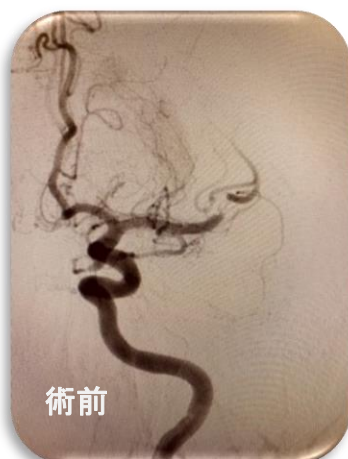


カテーテルと呼ばれる細い管を足の付け根もしくは腕の動脈に挿入し、血管の内側から治療する方法です。そのため、体を切開せずに低侵襲な治療がおこなえ、身体的負担を軽減できることが大きなメリットです。しかし、IVRをおこなう際には、造影剤の使用や放射線被ばくといったデメリットもあります。当院ではIVRでの被ばくを最小限に抑えるとともに被ばく線量の管理を徹底し、電子カルテに記録しています。また、被ばくの多くなった検査では担当医に報告し、患者様の容態変化を観察

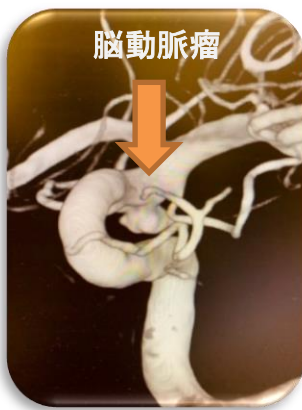
しています。

当院では次のようなIVRを行います。

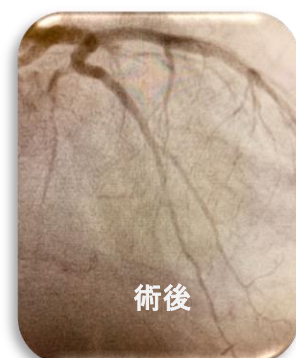
- ① 肝動脈化学塞栓術 (TACE) : 肝臓がんを栄養する動脈に抗がん剤や塞栓物質などを投与する治療法であり、主に放射線科医が行います。
- ② 血栓回収療法 : 脳の血管が血栓・塞栓などで急に詰まってしまった場合、点滴で血栓を溶解する治療 (血栓溶解療法) を行うのが一般的ですが、主要な太い血管が詰まった場合の再開通率は30%以下であり積極的なカテーテル治療を行います。治療には血栓吸引除法や血栓を絡め取るステントリトリーバー回収器具を使用します。主に脳神経外科医、救命センター科医、4月から当院に加わった脳神経内科医が連携して行っています。



③ 脳動脈瘤コイル塞栓術：くも膜下出血の原因として脳動脈瘤の破裂があります。破裂を防ぐ治療として、外科的に脳動脈瘤クリップを使用し動脈瘤を挟む手術もしくは、カテーテル治療として脳動脈瘤コイル塞栓術が選択肢です。コイル塞栓術は、脳動脈瘤の位置・形状・大きさの条件が揃い医師が血管内コイル塞栓術で治療可能と判断した場合に適応となります。この治療は、救命センター科の金子医師が中心となり行っています。脳動脈瘤の中にコイル（プラチナ製の糸）を詰め、血液の流入を防ぐことが目的です。脳動脈瘤の形状・大きさによりコイルの太さ・長さを判断し、数本のコイルを挿入します。治療は細心の注意を払いながら行われ 2～3 時間の短時間で終了します。治療後はくも膜下出血の程度にもよりますが、日常生活への復帰が早い低侵襲な治療と言えます。しかし、この治療にも合併症のリスク（手術中・手術後の頭蓋内出血、脳梗塞、追加治療が必要になる可能性等）が伴いますので、医師と相談してください。



④ 経皮的冠動脈形成術 (PCI)：経皮的冠動脈形成術 (PCI) とは、循環器内科医の手技により、心筋梗塞や狭心症による冠動脈狭窄・閉塞した血管をカテーテルで血管を広げて血流を再開させる治療を言います。バルーンで膨らませ広げるだけでは再狭窄率が約 30%であり、現在主流となっている薬剤溶出性ステントの使用で再狭窄率は約 10%となります。また、冠動脈が完全閉塞した急性心筋梗塞では PCI での再開通が遅れると心筋にダメージが大きくなります。素早く救急車を呼び、治療を行う必要があります。当院の循環器内科では 24 時間、365 日担当医が常駐して対応しています。



今後、当院では第 2 アンギオ室を稼働させる予定があり、さらに充実した IVR が期待できます。



## 放射線室職員構成

放射線技術部門は、診療放射線技師の免許取得者 27 名で構成されています。

## 【国家資格】

原子力規制委員会	第 1 種放射線取扱主任者	2 名
	第 1 種放射線取扱主任者試験合格者	3 名

## 【認定資格】

日本乳がん検診精度管理中央機構	MMG 撮影認定技師 (A 認定)	1 名
日本 X 線 CT 専門技師認定機構	X 線 CT 認定技師	3 名
日本磁気共鳴専門技術者認定機構	MR 専門技術者	1 名
日本救急撮影技師認定機構	救急撮影認定技師	1 名
日本核医学専門技師認定機構	核医学専門技師	1 名
日本放射線治療専門放射線技師認定機構	放射線治療専門技師	1 名
日本診療放射線技師会	放射線管理士	1 名
	放射線機器管理士	1 名
	臨床実習指導教員	1 名

# 医事課の独り言

## 医療費のDPC包括計算と出来高計算とは？

前号で、診療報酬（診療費計算の基となるルール）について触れましたが、今回は患者さまがお支払いする医療費がどのように計算されているかお話しします。

医療費の計算方法は大きく分けて、外来（通院）の出来高計算方式と入院のDPC包括計算方式があります。

### 外来（通院）・・・出来高計算方式

点数化（診療報酬）された医療行為（診察、処置、手術、検査等）やお薬を一つ一つ合算します。

計算例 診察料 + 処置料 + 検査料 + お薬代 = 外来医療費

### 入院・・・DPC包括計算方式

DPC (Diagnosis Procedure Combination; 診断群分類) に基づいて評価される入院1日あたりの定額支払い制度です。

入院治療する病気一つ一つに1日当たりの入院料が定められており、一部の診療行為（手術や特殊な検査）を除いて、全て（お薬、処置、検査、レントゲン）入院料に含めます。

計算例 (1日当たりの入院料×入院日数) + 手術 + 特殊な検査 = 入院医療費

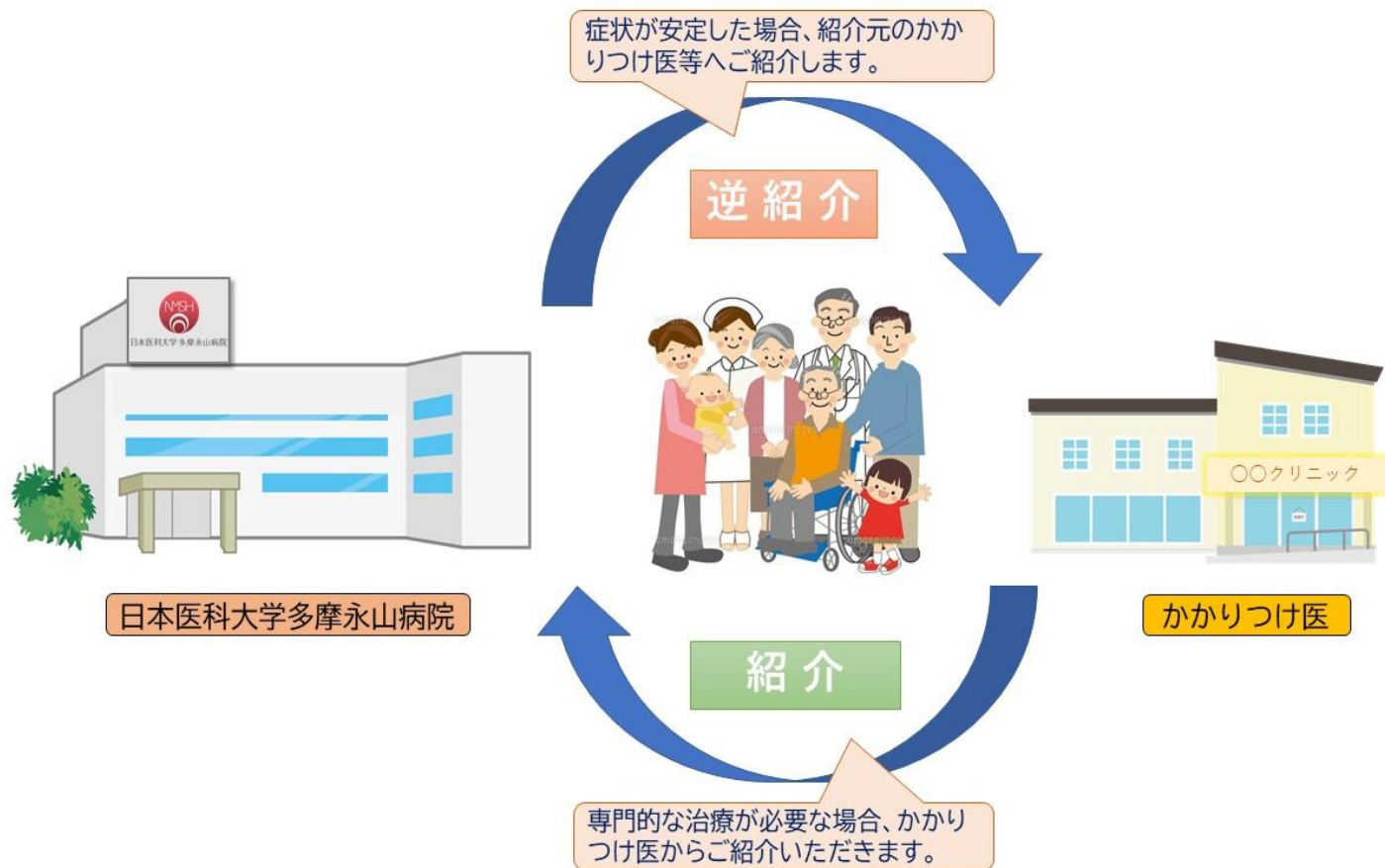
※入院については、入院期間、病態、治療法等で出来高計算の場合があります。

医療費の計算は、ご紹介したDPC包括計算や出来高計算などとても複雑です。

ご不明な点がありましたらお気軽に計算窓口までお声がけください。

## 地域連携

### 当院はかかりつけ医と協力して治療を行います。



### 編集後記

前号から今号の発行までの間に、コロナ感染症はなんと第7波が来てしまい、今度は子供から親など家族内感染が拡大し、多くの感染者が報告されました。

終わりが見えないウクライナ情勢や、延々と続くコロナ感染症以外の明るい話で、次号の編集後記は締めくくりたいものです。

本誌について、ご意見等ございましたら「広報委員会事務局 [komuyo@nms.ac.jp](mailto:komuyo@nms.ac.jp)」までお寄せください。

これからも日本医科大学多摩永山病院をどうぞ宜しくお願いいたします。

広報委員会 委員長 牧野 浩司



日本医科大学 多摩永山病院  
NIPPON MEDICAL SCHOOL TAMANAGAYAMA HOSPITAL

〒206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

TEL: 042-202-8230 (直通)

FAX: 042-372-7385

(平日: 午前 8 時 30 分~午後 5 時 00 分・土曜日: 午前 8 時 30 分~午後 4 時 00 分)

※日曜・祝祭日、年末年始(12月30日~1月4日)・創立記念日(4月15日またはその振替日)を除く



日本医科大学 多摩永山病院